

「たのしそう、おもしろそうに泳ぐ秋田へ」

10年くらい前までは横手の桜はゴールデンウィークの時期に咲き誇り、鯉のぼりと共演する光景が当たり前でした。急に暖かくなったり寒くなったり、これも温暖化の影響なのか、お城山を始め各地のさくら祭りも季節のスピードの変化に適應できず、といったもどかしさを抱きます。社会も季節も変化激しい時代、当然ながら私たちに合わせて咲くわけじゃない桜。咲いてくれたことに感謝せねばなりません。

最近、増田に仏事のため何度もドライブすることがありました。田んぼや民家の脇に何気なく咲く桜や菜の花、その向こうに見える秀麗無比なる鳥海山が美しすぎて、何度か車を止めました。自然の厳しさと美しさに抱かれた秋田の風土や文化の中で育つ子どもたちの学力は、ご存知の通り小学校の国語・算数で全国トップクラス。中学校でも上位であり、調査が始まった2007年度からほぼ一貫してトップ層をキープし続けています。秋田の塾に通う割合は東京の約半分程度。東京で中学受験の際、4年生で約40万円、5年生で約60万円、6年生で100万円以上が珍しくない中、秋田の子どもたちは塾に通わず学力トップ。

そして、声を大にして言いたいのは、先月、政府が教育改革で目指す「日本社会に根差したウェルビーイング（心身の健康と幸福）の向上」を最も実現する自治体はどこかという結果が発表。政府が定める9つの指標をもとに小中学生の「幸福感」を算出したところ、人口減少が43年連続と全国で最も長期にわたる秋田県がトップだったというニュースです！私ほもっと学校の先生方を称える、取り上げられるべき喜びべきニュースだと思っています。

嬉しい結果の要因はどこにあるのか、その一つに、「探究型授業」の導入があります。これは単なる知識の詰め込みではなく、地域課題や社会問題などをテーマに、子どもたち自らが考え、調べ、議論する学びのスタイルです。授業を見に行くと、当たり前のように子どもたちが考えを表現し、共感や別の意見を主張する様子から感じ取れます。この過程で、子どもたちは主体性や問題解決能力を身につけるだけでなく、「地域をより良くしたい」という当事者意識、すなわち“地元愛”を自然と育てています。

鈴木健太知事もこのニュースに「30年以上に及び、ふるさと教育の積み重ねが利いている」、「次のステージに進むべきタイミングだ」とも話し、児童心理に対する教員の理解力を高めて子どもの積極性を引き出す考えを示しました。

秋田県のネガティブ要素と表裏一体かもしれませんが、都市部では見えにくい社会課題が具体的に受け取ることができ、地域とのつながりが密接に感じる点が秋田ならではの強みと言えるでしょう。持論ですが、「秋田県は子どもが少ない=子どもたちを考える大人が一番多い」と解釈しています。裏付けるように、学校と地域社会の距離が近く、住民、企業も教育に積極的に関わり、子どもたちの成長を支える「共育」の環境が子どもたちの「幸福度」を高める結果となりました。保育も一体となって、子どもたちを真ん中にする、共育環境のさらなる充実に私も頑張っていかなければと、5月の空を眺め心新たにしています。

風で絡まりながらもまた風によって直る鯉のぼり。ところが激しすぎる風当りのせいか、先月下旬、鯉のお母さんが大空へと逃げ出しました。

うちみたいだ……。父は仕事に忙しく、少なからず持ち合わせる愛想は外で使い果たし、子は母親を召使いのようにお茶がないなど要求し、宿題はやりたくない、わからないと駄々をこねる。そうした日々嫌気が差したのかもしれないと、吹き流しを2匹に作った鯉を見つめ、しみじみと口ずさむ童謡『鯉のぼり』。

「屋根より高い、鯉のぼり……。おもしろそうにおよいでる」。あれ、母親出てこない!?そんなことから調べてみると、鯉のぼりの風習は日本と中国が合わさっているんだそうです。要約すると、卑弥呼といった古代の日本に遡ります。この時期は田植えが始まる直前。田植えの主な担い手はその家のお母さんで、これから忙しくなる前に1年に一度豊作を祈ると休むために小屋に籠っていたそう、そして本格的に田植えが始まってから空からお母さんを応援するために、お父さんと子どものみが登場する図式になった、その後、中国から端午の節句という風習が伝わり、男の子の健康を願うことも合わさり今に至っているそうです。

私の受け止めのポイントとしては、お母さんを休ませる習わしで歌詞に出てこない、そんなことも知らない生活の末、今回当園のお母さん鯉のぼりは逃げ出したんだな〜と。

4月15日、鈴木知事が新たに示した県総合計画でいう「楽しそうな秋田を皆さんとともに」。私は社会の流れや秋田県に吹く激しい風に泳ぐ鯉のぼりが、面白そうに泳いでいると感ずる心と似ている気がしています。(園長 津村 侑弥)

保育目標

0歳児 (ひよこ組)	安心する環境の下、睡眠・食事・遊びに心地よさを感じ過ごす	3歳児 (もも組)	春の自然にふれながら、友達や保育士と一緒に好きな遊びを楽しむ
1歳児 (りす組)	保育士が見守る安心感の下、のびのびと好きな遊びを楽しむ	4歳児 (ひまわり組)	自分でやりたい遊びや友達と関わっての遊びをじっくりと楽しむ
2歳児 (うさぎ組)	気持ちを受け止めてもらえる安心感の中で、思いを素直に表現する	5歳児 (さくら組)	集団でのルールや約束事に気が付き、園生活に取り入れ過ごす

ご協力よろしくお願いします。

【お迎えについて】

- 連絡帳でのお迎え予定者・時間から変更になる場合は電話連絡をください。
- お迎えが遅れる場合はそのことが分かった時点でお知らせください。予定時刻を過ぎた場合はこちらから電話での確認をさせていただきます。

【服装について】

- \*フード付きの服…×
- \*ひも付きの上衣…×
- \*サンダル類…×
- \*スカート…保護者さんの判断にお任せします。戸外遊びや排泄時にお子さんが困らないようにご配慮ください。

お子さんの体型に合ったサイズの服を着せてください。大きすぎ、小さすぎは活動のしにくいので、ご協力をお願いします。

HAPPY BIRTHDAY

2歳になります 6歳になります 4歳になります

~職員についてのお知らせ~

\*学童事務職員として、平澤 隆志・小林 英皇が勤務しています。園の電話対応なども担当します。よろしくお願いします。

【避難訓練】

＜火災：ベルの音で保育士のところに集まる＞

- 火災発生時のベルの音を聞き、保育士のところに集まります。防災頭巾を被り放送や保育士の指示が聞こえるよう静かに待つことを約束します。

【交通安全指導】

＜チャイルドシートの必要性について＞

- 車に乗るときの約束として、チャイルドシートに乗って、ベルトをすることの大切さを知ります。

行事

月	火	水	木	金	土
【*】は保護者参加行事です！ぜひご参加ください★ 5/11(月)~6/30(火)は保護者面談期間になります。ご協力をよろしくお願いします。 【来月のお知らせ】 6/20(土) 9:00~10:00 保護者会活動「園庭除草・プール設置」 14:00~16:30 法人職員研修 ※可能な方13:00までのお迎えにご協力下さい。 6/27(土)※保護者会活動9:00~10:00「園庭除草・窓清掃」				1	2
4 みどりの日	5 こどもの日	6 振替休日	7	8	9
11 避難訓練 9:30~10:00 (火災：ベルの音で保育士のところに集まる)	12	13 歯科検診 11:30~	14	15 交通安全指導 9:30~9:50 (チャイルドシートの必要性について)	16
18	19	20	21 おにぎり day	22	23 *親子遠足 9:30~11:30 (アルカディア公園)
25	26 サッカー教室 5歳児：10:00~11:00	27 甘茶まつり・誕生会 10:00~10:40 職員ミーティング 13:00~14:00	28 身体測定 (0~2歳児) 音楽リズム遊び教室 3歳児：10:00~10:30 4歳児：10:30~11:00	29 身体測定 (3~5歳児)	30

今年度も県立衛生看護学院の学生が3名ずつ7回に分けて実習を行います。感染症対策を行って実施します。夢の実現まであと1歩の学生支援へのご理解をよろしくお願いします。

はやね はやおき あさごはん  
元気な子になあ〜れ!!

☆子どもたちのようす☆

4月から入所したお友達の様子です!!園生活に慣れてきてくれてみんな笑顔を見せてくれる一方で、ふと泣いてしまうお子さんもいます。引き続き温かい目で一緒に見守っていかれたらと思います!